

## 港区立御成門中学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

国語	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3学年は、「話すこと・聞くこと」がやや苦手な傾向が見られる。</li> <li>・2学年は、「話すこと・聞くこと」と「書くこと」が苦手な傾向がみられる。</li> <li>・1学年は、「話すこと・聞くこと」が苦手な傾向がみられる。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチや話し合い活動を通し、自分の考えを整理し、わかりやすく話す力や、相手の意見や話の主旨を聞き取る力を養っていく。(3学年)</li> <li>・聞き手を意識した言語活動を行い、その際に自分が行う工夫を明確にさせる指導を行う。また、作文指導として、自分の立場・意見を明確に書く指導を重点的に行う。(2学年)</li> <li>・聞いたことをメモし、それを説明する等の機会を増やし、意見発表の場を作っていく。(1学年)</li> </ul>
社会	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を意識した学習を実践した結果、資料活用の技能、思考・判断・表現力の育成については成果が認められたが、学習単元による差は解消されていない。学習活動と成果に因果関係が認められる可能性があることから、特にグループ学習後の個の手当てを今年度は十分に行う。また、問題解決的な学習においては、対話的な学習によって学びを深められるようにする。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の区の学力調査の結果によると、3年生は概ね良好な結果であったが、2年生は目標値を上回ったものの、全国や区の平均正答率を下回り、基礎・基本の定着の徹底が課題となる。単に、知識・理解の基礎・基本にだけでなく、社会事象への思考・判断・表現や資料活用の技能に関する基礎・基本の徹底を図れるように、地図や統計の解読、考察の過程や結果の発表など、学び方の基礎・基本の定着を図れるようにする。</li> </ul>
数学	昨年度の課題	<p>区の学力調査の結果より、2学年では、全体的に目標値を上回っているが、1学年では、全体的に目標値を下回っている。特に、領域では「図形分野」が、2学年では高く、1学年では低い。観点別では「数量や図形などについての知識・理解」が、2学年では高く、1学年では低い傾向がある。また、全体的には、2学年は「活用分野」より「基礎分野」が高く、1学年では「基礎分野」より「活用分野」での数値が高い傾向があることがわかる。各学年の課題や、個々の生徒の特徴を踏まえた取り組みが必要だと感じる。</p>
	今年度の取組	<p>今年度区の学力調査の結果より、3学年(昨年度2学年)では「活用分野」の数値が上がり、2学年(昨年度1学年)では「基礎分野」の数値が上がった。これは、習熟度少人数授業において、個に応じた指導の成果が表れていると考えられる。今後も、学年やそれぞれの生徒に応じた課題を明確にし、取り組むことが必要だと考える。また、筋道を立てて考えたり発表させたり、自分の考えと比較させるなどの言語活動を、意図的・計画的に増やしていく。</p>
理科	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2年生においては基礎的な力がついていない。</li> <li>・1年生においては理科に苦手意識がある生徒が多い。</li> <li>・どの学年ともに物理や地学分野を苦手としている。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スモールステップによる繰り返し学習、小テストによる確認を多く取り入れ、基礎力の定着を図る。</li> <li>・物理分野での実験と理論の関係をわかりやすく説明できるよう授業を工夫する。</li> <li>・地学分野では実験や演示を増やし、またICT機器を多く取り入れ、関心を高めることで学ぶことへの意欲を向上させ、成果につなげていく。</li> </ul>
音楽	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容によって学習意欲に差がある。幅広い音楽に興味関心をもたせ、表現活動と鑑賞活動のための時間数を十分に確保する。</li> <li>・どのように表現したいかについて自分の思いをもち、思いを伝えたり言葉で説明したりする力の育成が必要。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の意義や活動の目的を明確にして生徒にわかりやすく伝える。</li> <li>・表現領域と鑑賞領域のバランスの取れた年間指導計画を作成し実行する。</li> <li>・自分がどのように感じたか、表現したいかなどを言葉で説明する活動、及び、互いの意見を共有する場を授業内に計画的に設定する。また、それぞれの意見を整理し視覚化できるよう、ワークシートや板書を工夫する。</li> </ul>

## 港区立御成門中学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

美術	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が表現したいことを完成させるための制作の見通しをつける力が必要。</li> <li>造形要素をもとに表現・鑑賞活動を行うよう意識することが必要。</li> <li>表現について感じたことや工夫点などを造形要素に基づいて考え、意見を交流し深める力が必要。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画表やワークシートを使用し、見通しをもたせる。</li> <li>造形要素についての理解を制作や鑑賞を通して深める。</li> <li>鑑賞授業の話し合い活動を充実させる。</li> </ul>
保健体育	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>全身持久力の向上</li> <li>巧緻性、敏捷性の向上</li> <li>話し合い活動の充実</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業始めに5分間走を実施し、基礎体力の向上を図る。</li> <li>体力テストの目標値を設定し、課題となる項目に関連する補強運動を実施し、目標達成を目指す。</li> <li>種目のルールを生徒の実態に合わせて変更するなどを行い、運動やスポーツの特性に応じた楽しさを感じさせ、生徒の意欲向上に努める。</li> <li>単元に応じてICTを活用した授業を行う。</li> </ul>
技術・家庭	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>製作に関する道具・工具を正しく使用するなどの基礎的・基本的な知識、技術が定着していないところがあった。</li> <li>時間的な不足から基礎的・基本的な知識、技術が身につけていないため、作品の完成度が上がらない生徒がいた。</li> <li>学習内容によって差が開き、苦手意識の高い分野では、意欲の持続や作品の質を向上できないところがあった。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な技能習得の繰り返しによって、完成度の高い作品の製作を経験させる。</li> <li>ものづくりを重点的に取り入れ、体験的に工具や機械を安全に使用できるようにする。</li> <li>生徒による授業評価を活用する。</li> <li>生活に役立つ実用的な作品の製作を多く取り入れる。</li> <li>実践し重ねた経験を家庭生活に生かせるように授業内容を工夫する。</li> <li>プログラミングによる計測・制御システムの学習とともに、スクールチャレンジの取り組みを取り入れ工夫・改善を行い、ペーパーを活用した取り組む。</li> </ul>
外国語 (英語・国際)	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で、区や国の平均を上回っている。</li> <li>表現、活用力を必要とする自己表現(英作文)に対して苦手意識がある、自信がない。</li> <li>長文を読んで、内容の要点を正確に理解する力に課題がある。</li> <li>時制や三人称単数現在形など、語形変化に対応する力を必要とする。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>スペリングテスト(長期休業明け): 語彙力をつける。</li> <li>パフォーマンステスト(インタビューテスト・年3回): NTとのコミュニケーションを通し、表現・活用力を高める。</li> <li>評価プリント(単元ごと): 既習単語・文法の定着、語彙力・理解力をつける。</li> <li>スピーキングテスト: 既習事項の英語をつかってNTの質問に答えたり、またNTに質問をしたりすることで言語運用能力を高める。</li> </ul>

## 港区立御成門中学校 各教科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間の授業改善推進プラン

道徳	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年で担当をローテーションして授業を行った。</li> <li>・年間指導計画をもとに、各学年行事などに合わせて内容項目を考えて実施した。</li> <li>・教科化に向けて、どう評価するかを検討していかなければならない。</li> <li>・評価、題材選択など研修を通して、研鑽を図る必要がある。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も学年で担当をローテーションして授業を行う。</li> <li>・年間指導計画をもとに、各学年行事などに合わせて内容項目を考えて実施する。</li> <li>・評価について他校の取り組みなどを参考に検討を進める。</li> <li>・道徳授業地区公開講座において、教科化を意識した指導を各学年で検討する。</li> </ul>
特別活動	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の異動や校内ネットワークの変更により、専門委員会指導の教員間の引継ぎ資料がない。</li> <li>・学級活動においては、学校としての方針はあるものの、各学年の裁量で行われることが多くなっている。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会担当を中心に、専門委員会の教員引継ぎ資料の作成を行う。</li> <li>・学級活動を各学年にお任せではなく見える化を行い共通理解を進めていく。</li> </ul>
総合的な学習の時間	昨年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生き方を学ぶ」というテーマを設定し「探究・創造・発信」を意識した取り組みを行うことを目指して各学年の成長段階に応じた課題を設定し学習活動に取り組んだ。結果、「探究・発信」では個性発揮し力を伸長させたが、「創造」面では、工夫や創意など、まだ全体的に深まっていないところも見られる。</li> <li>・学年の内容に応じてベース学習、テーマ学習、キャリア学習等を設定し学習活動を進めたが、学習の時間が週 1 時間の状況は、やり繰り返しの難しさや学習を深めるために不足の現状がある。</li> </ul>
	今年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年のテーマに合わせた学習活動をより深めることができるように、放課後の活動や生徒の主体的な活動が十分に行うことができるように、学習機材の貸し出し、休業中の活動などを実践している。</li> <li>・個人の研究を発表する機会を十分に確保するように計画を作成することによって、学年や他学年の優秀な作品発表を聞いたり、学年掲示に触れる機会を日頃より行うことによって学習活動を深められるように工夫している。</li> </ul>